

コンテナ苗を活用した実証研究

技術開発担当者会議



一月九日(月)・一〇日(火)の二日間、平成二七年度技術開発担当者会議を開催しました。今回、局・高知県・森林総合研究所との「コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究」現地検討会(参加者一四名)と合わせて開催となりました。

一日目は、高知県の町の架線集材事業地における、架線を利用したコンテナ苗の運搬・ヒノキ植栽箇所を視察し、コンテナ苗植栽における試験方法等について意見交換を行いました。

二日目は、局大会議室でコンテナ苗植栽概要、局から低コスト再造林の取組状況を森林技術・支援センター所長が報告(写真)。

その後、技術開発担当者会議では、各署等の取組、センダンの採種・植栽試験等について説明、意見交換等を行いました。

二日間を通じて、局内外の参加者との意見交換等を含め、今後の業務に生かせる会議となりました。

いま、早生樹の「コウヨウザン」に

コウヨウザン(コウヨウザン属)が四万十森林管理署管内(辛川山)に植栽(昭和8年)されています。(コウヨウザンは、昭和63年に伐採、現在、萌芽により二代目・写真)



早生樹としてのコウヨウザンは、ここ数ヶ月、研究機関等から問い合わせも多くなりました。10月末には、森林総合研究所 林木育種センター等から、現地確認等の依頼があり、四万十署、技術普及課からも調査等に案内・同行しました。現地を確認された林木育種センターによると、調査では、胸高直径30cm超、樹高14m超のものもあり順調に生育していて、今後の調査等について、局署の協力を仰ぎたい旨の要請が寄せられています。

貴重な植栽箇所であることから、今後とも局署連携して調査等を継続する考えです。

編集後記

今年も、師走に。この1年 ご愛読に感謝。
新春 1月21日(木)に局研究発表会を開催。
申年もよろしく。(技術普及課一同)

27 国有林野事業 業務研究発表会

平成二七年度 国有林野事業業務研究発表会が、一月一〇日(木) 林野庁において開催されます。

四国森林管理局から森林技術・森林ふれあい・森林保全の三部門にそれぞれ次の課題で発表します。

森林技術部門 ○「かかり木の安全対策について」

愛媛森林管理署 森林整備官 水田 英司

森林ふれあい部門 ○「名勝・入野松原の再生―地域連携による取組」

四万十森林管理署 浮鞭森林事務所 森林官 林 美樹也

森林保全部門 ○「囲いわなによる効率的なシカ捕獲及び普及について」

森林技術・支援センター 十和森林事務所 森林官 中村 正史
業務係長 芹口 竜一